

庁舎の整備エリアを考える

庁舎整備 ワークショップ①

NEWS LETTER

庁舎整備ワークショップが始まりました！

令和7年11月16日（日）、へきしんギャラクシープラザ（文化センター）で「庁舎整備ワークショップ」を開催しました。参加者は41名でした。はじめに、市長あいさつ、参加者の自己紹介をした後、庁舎整備の検討経緯などについて情報共有を行いました。その後、各班のファシリテーターによる進行でグループワークを行い、その結果を発表・共有しました。

1. オープニング

三星市長 あいさつ



安城市の庁舎は古くなっています。今、そのまま使い続けることが難しい状態です。

現在、「庁舎整備審議会」にて、庁舎整備における基本

方針などについて検討を重ねています。さらに、令和6年度から市民ワークショップ「未来の庁舎研究室」を開催し、庁舎の機能などについて話し合いを行っていただきました。

本ワークショップでは、これまでの検討を踏まえ、庁舎を整備する場所について話し合っていただきたいと思っています。様々な立場の方にご参加いただいているので、みなさまのアイデアをお聞きできることを楽しみにしています。

2. 自己紹介

統括ファシリテーター
山田朝夫さん（常滑市副市長）



平成18年から21年まで、安城市で副市長を務めさせていただきました。

現在は、常滑市で副市長をしています。

私は、30年ほど前からワークショップを行政に取り入れることに取り組んできました。安城市で勤務している時は機会がありませんでしたが、常滑市では市民病院や庁舎をつくる時にワークショップを実施しました。

今回は、庁舎整備ワークショップにお声掛けいただき、第2のふるさとである安市の役に立ちたいと思ってやってまいりましたので、よろしくお願いします。

3. グループワーク

班ごとに「どんなところに庁舎があると良いか」「庁舎と一緒にあると良い施設」「どんな庁舎が良いか」をテーマに意見交換を行いました。それぞれのテーマに対する意見を付箋に書き出して模造紙にまとめ、その結果を全体で発表・共有しました。

どんなところに庁舎があると良いか

- ・将来的にも市の中心になるところ
- ・災害時の拠点となる安全で安心できるところ
- ・他の行政施設に近いところ
- ・周辺に様々なお店や施設があるところ
- ・広い道に面しているところ
- ・駐車場が確保されているところ
- ・電車・バス・車で行きやすいところ
- ・スマホの中（電子申請などにより窓口に行かなくても申請等ができること）

など





庁舎と一緒にあると良い施設

- ・子育て支援センター
- ・図書館
- ・公園
- ・災害時の利用を前提とした広場
- ・イベントを開催できる空間
- ・勉強できる空間
- ・カフェやレストラン
- ・運動ができる空間
- ・広くて利用しやすい駐車場

など

どんな庁舎が良いか

- ・スムーズに手続きができる
- ・プライバシーが確保されたスペースがある
- ・どんな人にも優しい
- ・イベントなどを行え、交流の場となる
- ・災害時の避難所として安心して集まれる
- ・ランドマークになる
- ・目的の窓口がわかりやすい
- ・駐車場が停めやすい
- ・緑が多い

など



4. ふりかえりアンケートの結果

① 庁舎の位置を考える上で、重要だと感じたこと

誰もが利用しやすい/交通の利便性/災害発生時に安全/未来を考えることができる/多くの人から意見を聞くこと/市民の行きやすさ、集いやすさなど

② 印象に残ったこと、共感できたこと、自分にはない視点だなと思ったこと

若者が気軽に利用できるスペースがあると良い/ランドマーク的な建物/市民が安らげる/今のままを望む声が多い/外国人にも優しい庁舎/DXやスマホの活用で行かなくてもよいなど

③ 今日の話し合いを経て、考えが変わったこと

庁舎内のカフェの充実/のんびりできるような場所が必要/車で行きたい人が多い/多様性に配慮した設計の重要性/各窓口への動線の色分けの必要性/市役所の機能以外は何もなくても良いなど



発行・問合せ

安城市 資産経営課 庁舎整備室

TEL 0566-71-2270(直通)

0566-76-1111(代表)

※8:30~17:15(土日祝日を除く)